民間の単科精神科病院と精神科クリニックとの病診連携

医療法人社団 五稜会病院
中島公博、山口　択、立花　蘭、境さやか
吉田晶子、相方謙一郎、富永英俊　、千丈雅徳

はじめに

- ■一般科では総合病院とかかりつけ医の病診連携が進んでいる。
- ■地域の比較的軽症者を診療所がまず対応、より高度の診療は総合病院で精査治療、その後、地域の診療所で経過観察。
- ●精神科でも、精神科病院と精神科クリニックの連携が重要である。
- ●平成24年4月の診療報酬改定で、「あらかじめ連携している保険医療機関に紹介できる体制を有していること」の算定要件が加わる。
- ●五稜会病院での病診連携の実際と今後の課題について検討。

対象と方法

- ●五稜会病院での入院患者紹介経路と退院患者の治療先
- ●精神科クリニックから五稜会病院への入院患者内訳
- ●五稜会病院退院後の医療機関別治療先
- ●五稜会病院と精神科クリニックとの連携実施内容
- ●病診連携の行方、これからの精神科医療体制

五稜会病院での入院患者紹介経路と退院患者の治療先

平成22年～24年入院者　1,824人　　平成22年～24年退院者　1,816人

入院経路	2010年	2011年	2012年	総計	%
当院外来	336	245	310	891	48.8%
精神科クリニック	147	138	161	446	24.5%
精神科病院	34	18	14	66	3.6%
総合病院精神科	22	17	14	53	2.9%
総合病院身体科	13	14	14	41	2.2%
一般病院	16	11	11	38	2.1%
医院	9	9	5	23	1.3%
他	27	176	63	266	14.6%
総計	604	628	592	1824	100.0%

退院後の治療先	2010年	2011年	2012年	総計	%
当院外来	445	457	451	1353	74.5%
精神科クリニック	87	104	87	278	15.3%
精神科病院	17	13	23	53	2.9%
総合病院精神科	15	14	19	48	2.6%
総合病院身体科	12	7	7	26	1.4%
一般病院	4	4	3	11	0.6%
医院	2	2	3	7	0.4%
なし	8	13	19	40	2.2%
総計	590	614	612	1816	100.0%

精神科クリニックから五稜会病院への入院患者内訳(年代・ICD分類)

平成22年～24年入院者　446人(24.5%)が精神科クリニックからの紹介

年代	F0	F1	F2	F3	F4	F5	F6	F7	F8	F9	G	総計	%
10歳代			3	6	8	2				10		29	6.5%
20歳代	1		8	54	16	6	10		3	3		101	22.6%
30歳代		1	21	67	9	2	6		1			107	24.0%
40歳代		1	23	61	6		2	1			1	95	21.3%
50歳代		1	6	49	5							61	13.7%
60歳代		2	12	26	2						2	44	9.9%
70歳代				7								7	1.6%
80歳代			1	1								2	0.4%
総計	1	5	74	271	46	10	18	1	4	13	3	446	100.0%
%	0.2%	1.1%	16.6%	60.8%	10.3%	2.2%	4.0%	0.2%	0.9%	2.9%	0.7%	100.0%	

五稜会病院は認知症を対象としていないため、
思春期含め、20-40歳代、F2・F3・F4(ストレス疾患)が多い。

五稜会病院退院後の医療機関別治療先

平成22年～24年退院者の内　425人(23.4%)が転院(入院・外来)

転入院		58
	精神科病院	13
	総合病院精神科	9
	総合病院身体科	26
	一般病院	8
	医院	2
転院　外来		367
	精神科クリニック	278
	精神科病院	40
	総合病院精神科	39
	一般病院	5
	医院	5
当院　外来		1353

認知症の治療継続のために
精神科病院に13人
身体合併症のため転院者35人
が転入院

クリニックからの紹介はクリニックへが
原則。他の精神科病院・紹介
元の総合病院精神科へ

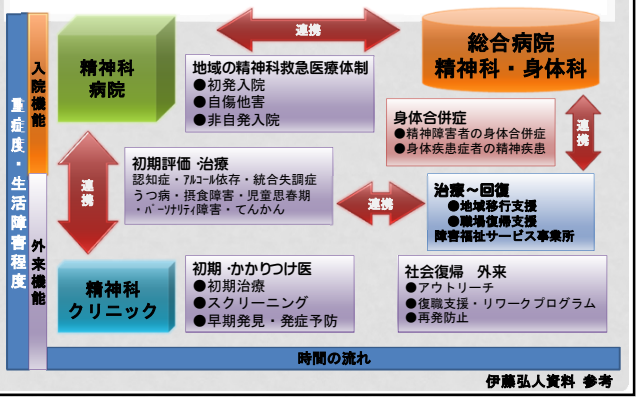
近隣者・当院治療継続者
当院デイケア・リワークプログラム

五稜会病院と精神科クリニックとの病診連携実施内容

1. 相互に患者の紹介・受け入れを行う。
2. 五稜会病院は、連携クリニックの後方支援病院として指定を受けることを認める。
3. 紹介患者に、日時予約、事前診察券発行、カルテ作成等のサービスを優先的に行う。
4. 「医療機能連携登録証」を発行。「医療機能連携医療機関名」を掲示出来る。
5. 相互のホームページ及び発行する各種案内冊子に「医療機能連携協定」を締結していることを表示。
6. 広報誌(Soteria)、各種案内冊子等を定期的に送付。
7. 薬剤の治験業務に関して、相互に協力関係を結ぶ。

考　察

地域連携（病診・病病連携を越えて）



伊藤弘人資料 参考

まとめ

- 五稜会病院における精神科クリニックとの連携について検討。
- 病診連携が今後もさらに進化し、必要に応じて、精神科クリニックと精神科病院とが相補完していくことが出来れば精神医療の充実と医療資源の効率化に寄与出来る。
- 病診連携という枠組みで語ることも必要であるが、広く地域連携を念頭に置いた精神科医療サービス提供が重要。

文献

1. 石山淳一　精神医療における病診連携　臨床精神医学 1997
2. 森 隆夫　精神科病院から見た地域移行・地域支援
　ー今必要な地域連携を考えるー　精神経誌　2009